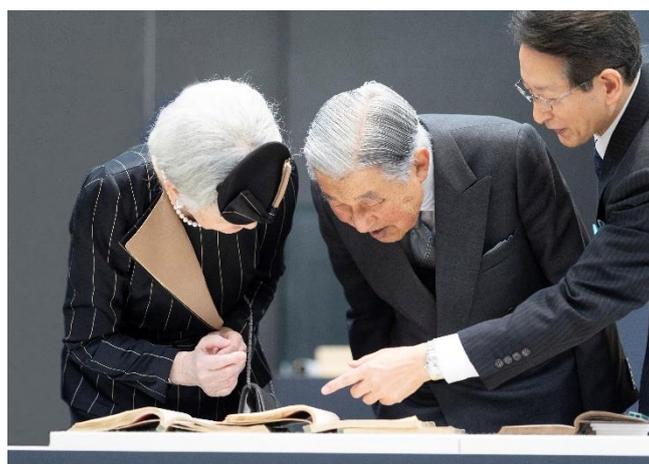


天皇皇后両陛下が教育博物館をご訪問

天皇皇后両陛下が、2018（平成 30）年 9 月 28 日に福井国体の行幸啓として教育博物館をご視察され、企画展『近代教育のはじまり』と『教科書の歴史』展示室をご覧になりました。



教育博物館前には沢山の人々が集まり、両陛下をお出迎えしました。



「三語便覧」をご覧になる両陛下

英語やフランス語の辞書がまだなかった時期に原書を読むため藩校で使った「三語便覧」をご覧になり、天皇陛下は「発音を知ることは、大変だったのでしょうか。」とご感想を述べられました。

藩校の書籍「*Fourteen Weeks Course in Chemistry*」（化学入門書）や、福井藩の理化学教師グリフィスが日本人のために作った英語教科書「*The New Japan First Reader*」などをご紹介します。

両陛下は福井藩が欧米の学問を積極的に取り入れようとしたことにご関心を寄せられ、書籍やグリフィスのことについてご質問されました。

また、天皇陛下は、小浜市の廃校（上根来小）で発見された明治期の木製亜鈴を興味深そうに手に取られ、『学校体操運動図』（1886・明治 19 年 錦絵）の亜鈴体操についてご質問されました。

『教科書の歴史』展示室では、小学校時代にお使いになられた尋常小学校と国民学校の教科書を両陛下は懐かしそうにご覧になり、『初等科音楽一』の「春の小川」の歌詞が文語体から口語体になったことや、『初等科国語七』の「燕岳に登る」に出てくる「ルックサック」や「さうしかんば」などを思い出されて、楽しそうに語り合われていらっしゃいました。